

授業科目名 科目コード	時事問題（Current Topics） 2013013-052					担当教員	西俣 先子 （ニシマタ ヒロコ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単 位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
時事問題を理解するための知識を身につけ、時事問題に対して関心を高めることを目的とする。時事問題に関心を持ち、これを理解するための知識を得ることは、自分が生きている社会に対する理解を深めることになる。授業では、政治、経済、社会・環境、国際の4つの分野から時事問題を取りあげ、これを理解するための基礎知識について学ぶ。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 情報収集・分析能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト（教科書）を使用する。使用するテキストの詳細は、下記の「⑥テキスト（教科書）」を確認すること。授業にテキストを持参すること。 ・自分の考えを深める作業を行う。コメント等で記入した内容を教員が紹介する場合がある。 ・必要に応じて資料を配布する。授業内容を理解しやすくするために映像を利用する場合がある。 									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
<ul style="list-style-type: none"> （i）時事問題を理解するための基礎知識を身につける。 （ii）時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。 									
⑥ テキスト（教科書）									
<p>ニュース検定公式テキスト編集委員会編 日本ニュース時事能力検定協会監修（2022）『2022年度版ニュース検定 公式テキスト&問題集「時事力」基礎編（3・4級対応）』毎日新聞出版</p> <p>*毎年3月下旬頃に出版される。シラバス作成時点では、2022年度版が出版されるという推測のもと記入している。2022年度版が出版されない場合、2021年度版を使用する。</p>									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>参考図書</p> <p>パスカル・ボンファス著 佐藤絵里訳（2019）『現代地政学 国際関係地図』ディスカヴァー・トゥエンティワン</p>									

秋元千明 (2017) 『戦略の地政学 ランドパワーVS シーパーパワー』 ウェッジ
 H・J マッキンダー著 曾村保信 (2008) 『マッキンダーの地政学 デモクラシーの理想と現実』 原書房

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。	教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明でき、さらに教科書に書かれていない時事用語も駆使できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用すれば説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があれば説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があっても説明できない。
(ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。	新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題の指摘と課題解決のための提言ができる。	新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題を指摘することができる。	新聞記事の内容の背景について、説明することができる。	新聞記事の内容の背景について、教員の支援があれば、説明することができる。	新聞記事の内容の背景について、教員の支援があっても説明することができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合		20%	50%			30%		100%
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。		20%				30%		50%
(ii) 時事問題について自分の考えを述べるようになる。			50%					50%
フィードバックの方法	課題は総評を公表する							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
 引き続き、丁寧な解説と分かりやすい授業資料等の活用を行いたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する。	10分
2	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
3	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
4	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
5	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
6	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
7	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
8	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
9	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
10	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
11	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
12	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
13	時事問題（国際分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
14	時事問題（国際分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
15	まとめ	学んだ内容の再確認を行う。 小テスト	90分

⑫ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL、を採用する。	
授業ではコメントを記入してもらい、コメント内容を利用する形で授業を進める。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性